

やさど



かしこく、あたたかく、たくましく

平成 25 年 2 月 25 日

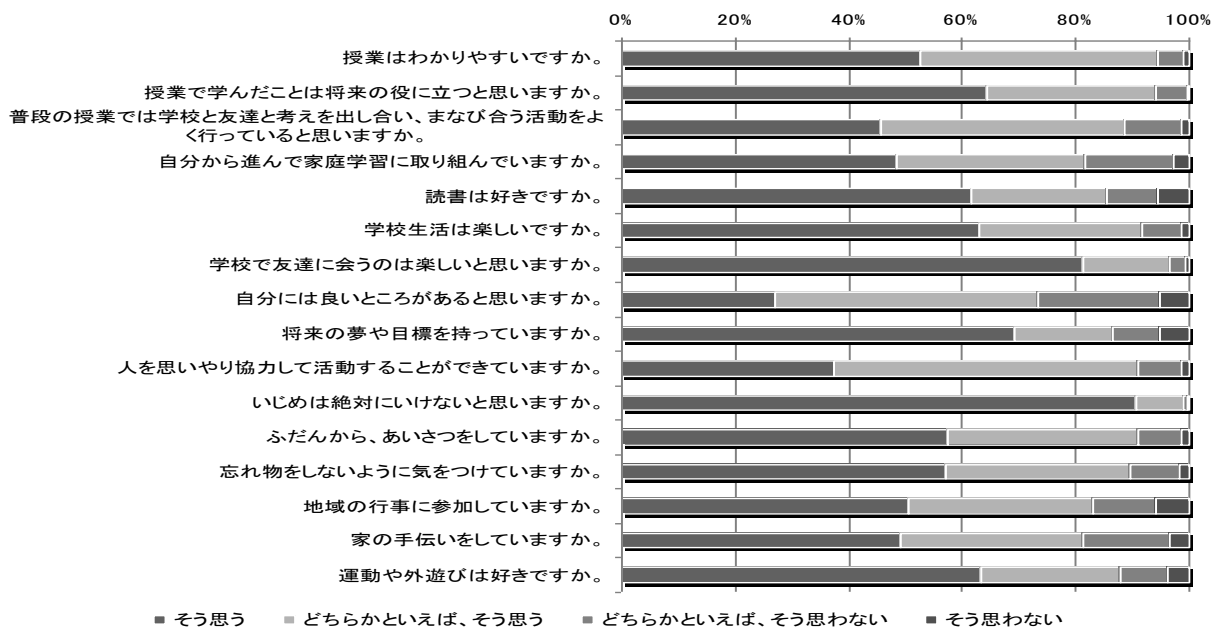
第 26 号

2/21 学校運営協議会・拡大委員会においてもこの内容について話し合われました。

24年度 学校評価アンケート集計結果の概要

アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果と考察についてお知らせします。

○ 児童アンケート(3～6年)結果について



90%の子どもたちが、「学校が楽しい」と思っています。しかし、少数ですが「そう思わない」子どもたちがいます。みんなが、楽しい学校であるよう、そう思わない原因を解消するよう努めたいと考えます。

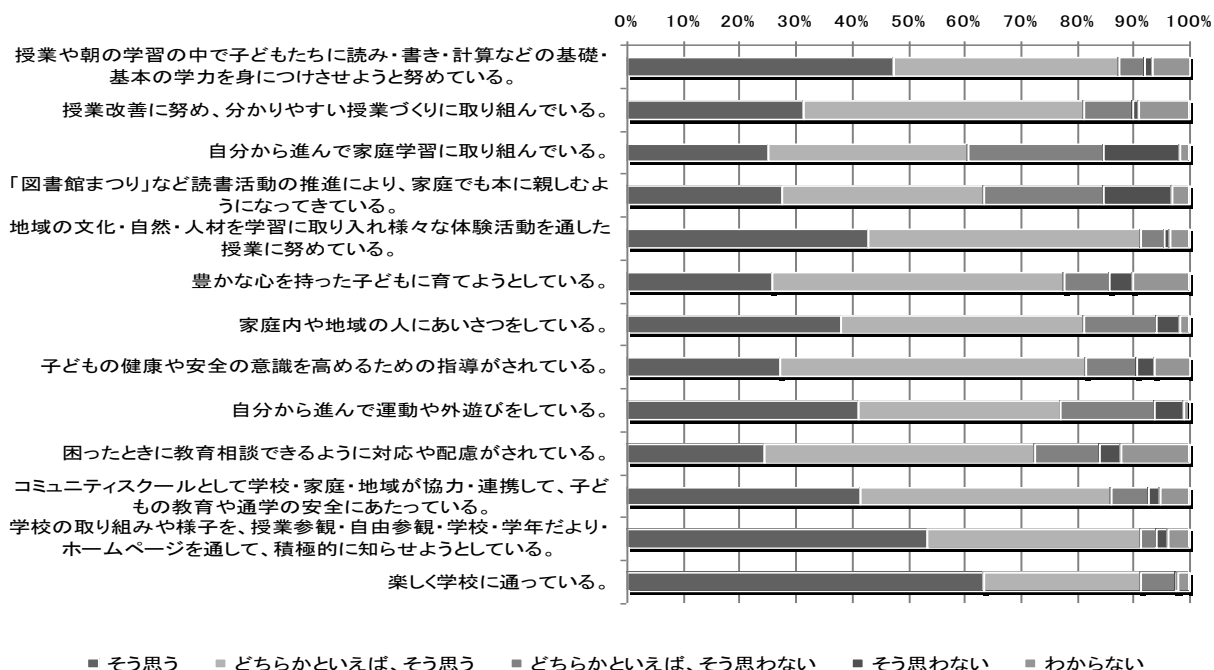
毎日の授業については約95%の子どもたちが学習内容について「わかりやすい」と感じています。これからも朝の学習の取組や日常の学習指導を工夫し、学力定着に充実感が味わえるように丁寧な指導を心がけていきます。話し合いなどで仲間とかかわりながら自分を高める「学び合い」については高学年になるにつれて肯定的回答が高くなっています。学び合う子どもたちの育成についての研修・研究に今後も努めていきます。

言語力の基本となる読書習慣については、学級では読書しているものの家庭でも読書が習慣化されている子はそれほど多くはないようです。今後は、学校と家庭が連携して「読書好き」な児童が増えるように努力していくことが大切と感じます。

「自分にはよいところがある」と感じている子は74%とやや低い結果が出ています。自己肯定感を高めるために、学校全体で子どもの主体性を重視した授業や行事を行っていく必要があります。

「あいさつ」「家庭学習」の項目では、児童アンケートと保護者アンケートで肯定的評価に少し差がありました。これは、子どもは「やっている」と思っているものの、保護者から客観的に見て今一歩ということではないかと考えます。あいさつは、今後も登校指導や生活目標などの取組を中心に、学校・家庭から地域へと広がるように指導していきたいと思えます。

○ 保護者アンケート結果について



「学校は豊かな心を持った子どもを育てようとしている」の肯定的回答は78%と少し低いと感じました。諸問題続出の今日的社会の中で友だちを大切に、正しい行動をしようとする意識を高める指導はとても重要です。学校生活全般で、規範意識や友だちを大切にする心の育成に努力していきます。また、子ども同士が誘い合って外遊びできるようにクラス遊びなど意図した外遊びの取組を実施していきたいと思います。

最後に、地域の文化・自然・人材を取り入れた体験授業に関しては、92%の肯定的回答があり、一定の評価が得られているものと考えます。コミュニティスクールとして連携の項目の肯定的回答は86%で、学年で差がありました。学校が、家庭・地域と連携を深め、一体感が生まれるよう、情報の発信をさらに心がけ、より理解していただく努力をしていきます。

○ **学校で今後も特に取り組んでいかなければならないこと**

- ・ 学力向上のための授業改善(学び合う授業・わかる授業の研究)を進めること
- ・ 相手を思いやる心や、いじめはいけないなどの道徳的価値をしっかりと身につけさせること
- ・ 豊かな心を育むこと
- ・ 児童、保護者が気軽に相談できる学校の環境づくりを進めること
- ・ これからも学校の情報をできるだけ発信すること
- ・ 家庭学習の定着を図る方策を考え、そのための指導を続けていくこと

○ **家庭にお願いしたいこと**

- ・ 基本的な生活習慣をしっかりとつけさせること
(あいさつ、早寝・早起き・朝ごはん、テレビ・ゲームの視聴時間の制限等)
- ・ 家庭学習を定着させること(担任の先生と連携をとりながら)
- ・ 子どものことや学校のことで気づいたことはすぐ連絡すること
- ・ 子どもは地域が育てるといったことから、わが子だけでなく近所の子どもにもできるだけ声をかけ、モラルを教えていけるような環境づくりに努力すること